

競技上の諸注意

1. 競技規則

本大会は、令和7年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則及びバドミントンハンドボール競技規則に準ずる。

2. 競技方法と時間

(1) 試合方法は、3チームによる予選リーグの後、

各リーグの1位、2位、3位はそれぞれ、1位リーグ、2位リーグ、3位リーグを行う。

※順位決定方法は以下の通りとする。

①勝ち点（勝ち2、引き分け1、負け0） ②得失点

③当該チームの勝敗 ④総得点 ⑤抽選（抽選方法については、大会において別途定める）

(2) 男女とも15分-10分(休憩)-15分とする(延長戦なし)。

(3) 加算式の電光掲示時計を使用する。

(4) タイムアウトは1試合につき前後半各1回請求できる。

タイムカード使用についてはブザーまたは笛で知らせる。(タイムカード提出時、試合開始10秒前)

(5) 退場者については、電光掲示板またはボードにて背番号と時間を表示する。オフィシャルからの指示はしない。

(6) 競技は原則開始時刻通りとする。

3. 大会使用球

(公財) 日本ハンドボール協会の検定球ミカサの1号球（男子）とモルテンの0号球（女子）を使用する。

4. 競技会場

(1) 競技会場は、小田原アリーナ（小田原市総合文化体育館）とする。

コートは36m×20m の3面で行う。

(2) 館内には必ず体育館シューズを使用し、外履きとの区別をはっきりすること。

(3) 松やに・松やにスプレー・両面テープなどは使用不可とする。

(4) ウォーミングアップは、各会場の指定された場所で行うこと。

5. トス・ユニフォームの確認等

(1) 第1試合のトスは、試合開始30分前に、第2試合以降は前試合のハーフタイム時に行う。

(2) ユニフォームは濃・淡2色以上を用意する（ビブスも可とする）。

(3) ユニフォームの確認はトスの時に行う。その際に、大会に申込みをした全てのユニフォームを持参すること。

(4) インナー・サイクリングパンツは、本大会のみユニフォームと同色でなくても可（同一チーム内の選手が異なる色でも可）とする。

(5) 役員選手はトス時に日本協会登録証を提出し、試合直前に審判員から本人の確認を受ける。

なお、登録証には写真を必ず貼付すること。

(6) 代表者会議で決定したチーム役員・選手・臨時トレーナーのみが競技に参加できる。

6. 参加資格等

(1) ベンチは役員5名、選手20名までとする。

役員登録されていない臨時トレーナーについては、指定の場所で待機すること。

(2) ベンチに入る役員には、オフィシャルからIDカード(A,B,C,D,E)を配付する。

臨時トレーナーには、大会事務局でIDカードを配付する。

(3) チーム責任者は試合開始前、公式記録用紙に役員名及び選手名と背番号が正しく記載されているか確認し、サインをする。

7. 裁定委員会及びMO・TD

(1) 本大会に裁定委員会を置く。メンバーは、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長 その他、大会役員関係者をもって構成する。必要があれば関係者(当該チームの選手を含む)を同席させる。

(2) 裁定委員会は、本大会において発生した全ての問題について審議し、その対応を決定する機関である。

(3) 本大会全ての試合に TD2名（内1名はMOを兼ねるTD）を置く。

8. 諸注意

(1) 競技中、交代地域でのボールの使用は一切禁止とする。ボールはケース等に収納すること。

(2) コールドスプレー等は、けが等で使用する以外はトレーナーズバッグ等に収納しておくこと。

(3) 体育館の電源の使用は禁止する。

(4) 体育館の使用に際しては、各都県代表選手としての自覚と誇りを持って行動すること。

(5) 試合終了後のあいさつは、選手はコート上 横1列に並び行うこととする。

9. その他

(1) 代表者会議は、24日(土) 10時00分から小田原アリーナ 研修室で行う。

参加は、役員 2 名（内 1 名は引率責任者）とする。

代表者会議受付にてプログラムの引渡しを行う。

(2) 代表者会議終了後、小田原アリーナBコートにて開会式を行う。

参加は、選手のみとし、ユニフォームまたはチームウェアとする。

役員は観覧席での参加とする。

撮影係の 2 名に、Bコート周囲での撮影を許可する。

昨年度（茨城県開催）優勝チーム男子・女子（ともに神奈川県）は、優勝杯を忘れずに持参すること。

(3) 公式記録用紙は関東ハンドボール協会宛とし、原本を保管、当該チームには電子的に配付する。